

インドムンバイ新聞

ムンバイ日本人学校
さいとうえいこ

インド 交通情報!



インドでも日本の車が走っていますよ。スズキ、トヨタ、ホンダ等々…。

Namaste(*^ ^*)鳥屋野小学校のみなさんお元気ですか？
ムンバイ日本人学校のさいとうえいこです(∩・∩)ハイッ!!

一年で一番寒い季節になりましたねー。毎日の通学、みんな本当に気をつけて下さいね。冬になると、鳥屋野小の近くでも車が滑ってガードレールにぶつかったり、歩道橋ですべっちゃったとか、ありましたよね。時間と心に余裕を持って、朝と帰り、過ぎて欲しいと思います。

一方、こちらムンバイでは、先日、運動会が終わりました。えー今頃!?ってわたしも思いました(^_^;)でも、今頃なんです。今のムンバイは、一年で一番過ごしやすい季節。暑くも、寒くもなく、日中は暑いけど、風が通ると気持ちいいです。運動会は、海の近くの陸上競技場の様なところでやりましたが、まー、この日は暑かった！でも、日本人学校と、ムンバイに住んでいる方たちの集まり＝日本人会が協力して、みんなで団結した運動会は、とても楽しく、一日があっという間でした。

これから、ムンバイはもっともっと暑くなり、一年で一番暑い季節を迎えます。来週からプール授業も始まります(∩^∩)

今回のムンバイ新聞ではインド交通事情についてレポートします v(∩▽∩)v



こんなぎゅーぎゅーの車の道にも慣れてきました(∩_∩)

ムンバイの交通事情は、日本とは激しく違います。車が右ハンドルで左側を通るっていうのは同じなのですが、同じのはそれだけ！あとはもう、まったく様相が異なります。

①一度に走る車の量が多すぎる問題。

一般的に道路には車線というものがあって、車の走行する列が決まっています。しかし、インドは、何しろ人が多い＝車も多い。必然的に一度に走る車の数もとんでもなく多くなってしまいます。ということは、どう考えてもこれって2列で走る用の道路だよなーっていうところを、同時に5列くらいで走っちゃうってこと。これ、とっても怖いです！でも、インドの方って、運転が上手。わたしのドライバーさんも、隙間があると、すかさず突っ込んでいって、ものすごい速



とっても便利なリキシャー。ムンバイのリキシャーは黒と黄色で塗られています。

さで目的地に連れて行ってくれます。その技術たるや天晴れ！

②リキシャーやバイクが突っ込んでくる問題。

日本にもある「人力車」が語源になっているリキシャー。とても便利な乗り物で、私もよく利用しているのですが、このリキシャーがまたものすごい至近距離で車のそばを通ります。バイクも然り。ぶつかりそうと思わず目をつぶってしまうこともしばしばです。このリキシャーには、ビックリするほどたくさんの人が乗りこんでいることが多くて、わたしは最大8人くらい乗っているリキシャーを見たことがあります(^_^;)下手をすると、ヤギ(家畜用?)が乗っていたり、椅子からはみ出すほど大きく長い荷物を積んでいたり…。あ、ヤギをだっこしてバイクに乗っている人もよく見ます。日本では考えられないこの風景を、長閑というか、エネルギーというか…でも確かに生きる力の強さを感じる風景です。

③クラクションがうるさい問題。

とにかく、クラクションが鳴らない日はありません。「危ないぞー！」の意味はもちろん「通るよー。」「先に行かせてー。」「(リキシャーに)乗りませんかー?」「急いでるんだよー!」…とまあ、まるでクラクションで話しているかのように毎日町中でクラクションが鳴り響いています。そんな賑やかさも、ムンバイの街のエネルギーの一部なのかもしれませんね。
みんな！寒いけど、元気に頑張ろう(≧▽≦*)!